

芦屋市靈園香花壳場運営事業に係る企画提案競技
応募申込書

令和 年 月 日

芦屋市長 宛

芦屋市靈園香花壳場運営事業に係る企画提案競技実施要領に基づき、応募申込みをします。

応募者名 (代表法人)	(法人等名)
	(氏名・代表者)
	(住所・所在地) 〒
	(電話番号)

担当者	(所属部署)	(担当者名)
	(所在地) 〒	
	(電話番号)	(FAX番号)
	(メールアドレス)	

代表者を除く構成員数 (提出する構成員調書(様式2)の枚数)	枚
-----------------------------------	---

芦屋市靈園香花売場運営事業に係る企画提案競技
構成員調書

令和 年 月 日

芦屋市長 宛

芦屋市靈園香花売場運営事業に係る企画提案競技に基づき、下記の応募者の構成員として申し込みます。

応募者名 (代表者)	
---------------	--

構成員	(法人名)
	(氏名・代表者)
	(住所・所在地) 〒
	(電話番号)

担当者	(所属部署)	(担当者名)
	(所在地) 〒	
	(電話番号)	(FAX番号)
	(メールアドレス)	

芦屋市靈園香花売場運営事業に係る企画提案競技
運営事業予定者の選定等に係る誓約書

令和 年 月 日

芦屋市長 宛

所在地

法人等名（グループの場合は、代表する法人又は団体名）
代表者氏名

芦屋市靈園香花売場運営事業予定者の選定等に当たり、提出した申請書類に虚偽又は不正はありません。また、下記の申請資格をすべて満たし、かつ、欠格事項のすべてに該当していないことを誓約します。

記

1 応募資格

- (1) 法人、団体又は個人事業主、若しくは複数の法人等により構成されるグループであること。
- (2) 本事業の趣旨に理解をし、香花売場の運営に知識を有し、かつ安定した運営ができる法人等であること。
- (3) 他に単独又はグループで香花売場の運営事業者の申請をしていないこと。

2 欠格条項

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する入札参加の資格制限に該当する者。
- (2) 法人税、消費税、地方消費税、府県民税及び市町村民税を滞納している者
- (3) 現に、芦屋市の定める競争入札に係る指名停止基準（昭和61年芦屋市基準）に基づく指名停止を受けている者。
- (4) 芦屋市暴力団排除条例(平成24年条例第30号)及び芦屋市契約等に係る事務からの暴力団等の排除措置に関する要綱（平成25年）に基づく入札等排除措置を受けている者。
- (5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て（国土交通省の資格再認定を受けている者を除く。）、廃止前の和議法（大正11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立て（国土交通省の資格再認定を受けている者を除く。）がなされている者。

法人等の概要説明書

法人等名称	
代表者氏名	
主たる事務所の所在地	
役員数	
従業員数	
担当者名	
電話番号	
Fax 番号	
e-mail	

過去の事業運営実績

事業者名

代表者名

業務名	依頼(発注)者	運営期間	業務内容

※ 香花売場の運営に係る業務実績及び類似業務実績の有無について記入すること。

本事業運営の推進体制

事業者名 _____

代表者名 _____

代表者	氏名			年齢	
	資格 (名称等)			担当予 定業務	
	実務経験年数	年			
氏名			年齢		
資格 (名称等)			担当予 定業務		
実務経験年数	年				
実務実績(内容)					
業務担当者	氏名			年齢	
	資格 (名称等)			担当予 定業務	
	実務経験年数	年			
実務実績(内容)					
業務担当者	氏名			年齢	
	資格 (名称等)			担当予 定業務	
	実務経験年数	年			
実務実績(内容)					
業務担当者	氏名			年齢	
	資格 (名称等)			担当予 定業務	
	実務経験年数	年			
実務実績(内容)					

※ 配置予定者を全員記入すること。

芦屋市靈園香花売場運営事業に係る企画提案競技

質問書

令和 年 月 日

芦屋市長 宛

質問者	(氏名・法人名)	
担当者	(所属部署)	(担当者名)
	(所在地) 〒	
	(電話番号)	(FAX番号)
	(メールアドレス)	

〈質問内容〉 (例: 頁 行目)

適宜、行が足りない場合は、行を増やして記載すること。

辞退届

令和 年 月 日

芦屋市長 あて

所在地

法人等名（グループの場合は、代表する法人又は団体名）

芦屋市靈園香花売場運営事業に係る企画提案競技に申請しましたが、都合により辞退します。

記

辞退の理由

以 上

誓 約 書

下記1の物件に係る「芦屋市靈園香花売場運営事業者募集提案競技」に参加するのに当たり、芦屋市暴力団排除条例（平成24年芦屋市条例第30号。以下「条例」という。）を遵守し、暴力団を利することとならないよう措置を講じて暴力団排除に協力するため、下記2のとおり誓約する。

なお、芦屋市長がこの誓約書の写し及び下記2(4)の情報を所轄の警察署長（以下「警察署長」という。）に提供すること、芦屋市長が警察署長に下記2(1)及び(2)に関して意見照会すること並びに警察署長から得た情報を芦屋市長が他の業務において暴力団を排除するために利用し、又は他の実施機関（芦屋市個人情報保護条例（平成16年芦屋市条例第19号）第2条第1号に規定する実施機関をいう。）に提供することについて同意する。

記

1 提案競技応募の対象となる市有財産 芦屋市朝日ヶ丘町15番7号
芦屋市靈園管理棟1階

2 誓約事項

- (1) 申請者は、次のアからウまでに該当しないこと。
 - ア 条例第2条第1号で規定する暴力団
 - イ 条例第2条第2号で規定する暴力団員
 - ウ 条例第2条第3号で規定する暴力団密接関係者
- (2) 行政財産の使用に係る業務の履行等に伴い、前号アからウまでに該当する者（以下「暴力団等」という。）を利用することとならないようすること。
- (3) 申請者が前2号の規定に違反したときは、契約の取消し、損害賠償請求その他の芦屋市長が行う一切の措置について異議を述べないこと。
- (4) 芦屋市長が、申請者が暴力団等に該当するのか否かを確認するために、それらの役員等（芦屋市契約等に係る事務からの暴力団等の排除措置に関する要綱第2条第2号に規定する役員等をいう。以下同じ。）の氏名その他の情報の提供を求めた場合は、申請者は速やかに必要な情報を芦屋市長に提出すること。
- (5) 申請者は、上記1の物件の使用に伴い、暴力団等から妨害その他の不当な手段による要求（以下「不当介入」という。）を受けたときは、芦屋市長に報告し、及び警察署長に届け出て、捜査上必要な協力をすること。

令和 年 月 日

芦屋市長宛

(申請者)

住 所

(所在地)

氏 名

〔 法 人 名 〕
 〔 代 表 者 名 〕

印

※以下は、オンライン手続きをすることが困難な状況で押印を省略する場合のみ記載すること。（連絡先は2以上記載すること）

本件責任者（会社名・部署名・氏名）：

担当者（会社名・部署名・氏名）：

連絡先（TEL）1：

連絡先（TEL）2：

(参考)

芦屋市暴力団排除条例

第2条

- (1) 暴力団 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団をいう。
- (2) 暴力団員 法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。
- (3) 暴力団密接関係者 暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する者で次のいずれかに該当するものをいう。
- ア 暴力団員が役員(法第9条第21号に規定する役員をいう。以下同じ。)として、又は実質的に経営に関与している事業者
- イ 暴力団員を業務に関し監督する責任を有する者(役員を除く。以下「監督責任者」という。)として使用し、又は代理人として選任している事業者
- ウ 次に掲げる行為をした事業者。ただし、事業者が法人である場合にあっては、役員又は監督責任者が当該行為をした事業者に限る。
- (ア) 自己若しくは自己の関係者の利益を図り、又は特定の者に損害を与える目的を持って、暴力団の威力を利用する行為
- (イ) 暴力団又は暴力団員に対して、金品その他の財産上の利益の供与をする行為
- (ウ) (ア)又は(イ)に掲げるもののほか、暴力団又は暴力団員と社会的に非難される関係を有していると認められる行為
- エ アからウまでのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを相手方として、下請契約、業務の再委託契約その他の契約を締結し、これを利用している事業者

芦屋市契約等に係る事務からの暴力団等の排除措置に関する要綱

第2条

- (2) 役員等 次に掲げる者をいう。
- ア 法人その他の団体(以下「法人等」という。)にあっては、役員(条例第2条第3号アに規定する役員をいう。以下同じ。)及び監督責任者(業務を監督する責任を有する者及び当該業務に対して当該者と同等以上の支配力を有すると認められる者(役員を除き、これらの者の権限を代行する権限を有する者を含む。)をいう。以下同じ。)
- イ 法人等以外の者にあっては、その者及び監督責任者